

11月 全校朝会講話（要約）

体育祭や学習発表会という大きな行事を終え、いよいよ3年生から2年生にバトンが渡される時期になりました。今月は期末テストの他に生徒会の選挙が行われます。

そこでこの11月に大切にしてほしいものが「信頼」です。

今、学校の信頼、先生の信頼が揺らぐ事件が数多く発生し報道されています。とても深刻な状況です。私は学校ほど信頼関係が大切な場所はないと思います。私たち全員が選んだわけではなく、運命的に同じ場所で生活しています。互いに信頼し、気持ちよく生活を送ろうと努力して、このように生活しているわけです。

学校から信頼関係がなくなれば、授業も成立しませんし、いたずら・いじめが多く発生します。殺伐した雰囲気になります。誰もが毎日を居心地の良い環境にしていこうと願っているはずですが、みんながもっている願いや思い・期待をそれぞれがバラバラにもっていても力にはなりません。これを一つにまとめることによって大きな力になります。

私たちも当然、生徒や保護者・地域の皆さんから信頼される存在でなければなりませんし、みなさん自身にも努力してほしいと思います。

そこで大切なのが生徒会という存在です。春先に生徒会は大切な組織だと話しましたが、特に中心となる生徒会三役、専門委員長にはぜひ頑張してほしいと思います。

しかし、ほとんどの人は大きな責任に押しつぶされるのを避けようとしています。けど3年生や代々の先輩方は間違いなく生徒会を引っ張ってってくれました。すごいことだと思います。なぜ困難な役を引き受け、今日まで続けてきたのか。それは、困難を乗り越えた時の喜びがあるからだだと思います。

皆さんは今までそういう経験はないでしょうか。特に3年生は多少あるのではないのでしょうか。3年生は、その経験と喜びを後輩に伝えてほしいと思います。また2年生・1年生は「みんなが喜ぶ姿が見てみたい。みんなを喜ばしてあげたい。」という人はぜひリーダーになってください。また全員がこの信頼という宝物を誰に預けたらいいのか真剣に考えてください。そして、協力してください。

この財産を置きっぱなしにされたり、巻き散らかされることがないように、この1か月は来年度の土台づくりを真剣に考えてほしいと思います。